

カテ業務評価表：実践編①

●検査・治療の介助及び看護

目標		安全に入室・退室の看護を行うことができる					
評価		評価方法) A:自立 B:見守り下 C:サポート下 D:指導のもと E:学習必要					
項目	習得内容	/	/	/	/	/	/
入室前	1 予定の穿刺部位を確認することができる						
	2 検査項目・今回の治療部位を確認することができる						
	3 腎機能を確認ことができ、CINプロトコールが理解できる						
	4 患者の情報に合わせたpre mediの有無の必要性がわかる						
	5 カテ前検査(採血・X-P・CTなど)がないか確認することができる						
	6 点滴が入院オーダーされていることを確認できる						
	7 File Makerを立ち上げて経過記録の入力準備ができる						
入室↓ シース挿入	1 放射線技師と患者情報用紙で患者確認することができる						
	2 金属類・湿布類が付いてないか最終確認ができる						
	3 病棟Nsから申し送りを受けることができる						
	①喘息・アレルギーなどの禁忌事項を確認できる						
	②抗血小板薬の内服状況を確認できる						
	③中止すべき薬を理解し、確認することができる						
	4 患者を安全にカテ台へ誘導できる						
	5 モニター装着、穿刺部位の準備、ルート・ライン類を整え、滴下の確認ができる						
6 清潔操作にて消毒・ドレーピングの介助ができる							
7 局所麻酔時に伴う合併症がわかり、緊急時の対応ができる							
8 ヘパリン投与量の指示を確認し投与することができる							
シース 抜去↓ 退室	1 胸痛・心電図変化・バイタルサインなど観察ができる						
	2 穿刺部位に合わせて止血器具を適切に準備することができる						
	3 消毒部位を清拭し穿刺部位に合わせた注意点が説明できる						
	4 造影剤使用量をCEへ確認し記録することができる						
	5 穿刺部位・状態に合わせた帰室方法を選択できる						
	6 検査の入れ替え調整の連絡をすることができる						
退室後	1 検査結果や継続看護につながる申し送りをすることができる						
	2 滅菌物の処理ができる						
	3 金庫管理薬品の使用後の処理ができる						
	4 コスト用紙を処理することができる						
	5 カテ後の部屋の片付け、次のカテ準備を行うことができる						